

太宰府市総合戦略推進委員

建築家

スピングラス・アーキテクトズ代表取締役

まつおか きょうこ
松岡 恭子さん



私の祖母は太宰府の出身で、参道に入っすぐの左側の街区に多くの親戚がいたようです。子どものころよく泊まりに出かけ、大叔母が住む小鳥居小路の履物屋の店先で遊んでいました。半世紀前の記憶をたどると、今ほど観光客がいないのんびりとした町だったように思います。母方は神道で、祖霊殿や先祖の式年祭で太宰府天満宮にお世話になっています。

祖母の母である私の曾祖母は古賀という家に嫁ぎ「おつっちゃん」と呼ばれ、一族の間では太宰府小町と評判の美人だったということになっていますが、写真嫌いでおかつ若くして亡くなったのが得してそういう伝説になったのではないかと思います。祖母は太宰府で育ち福岡市の西公園近くに嫁いできたのですが、梅の名所から桜の名所に移ったとよく言っていたそうです。

自分はどこから来たのか誰もが考えるのだと思いますが、福岡市で生まれ育ったものの、鶯、梅ヶ枝餅、梅園の宝満山と子どものころから親しんだものは今も心を温めてくれ、先祖を思わせてくれる存在です。

特集

12月市議会市長提案理由説明 …… 6

【表紙関連】

・令和5年二十歳のつどい開催 …… 7

・おめでとう20さい あの頃の1さいは今 …… 8～9

令和4年分の税の申告受付を開始します …… 10～11

市からのお知らせ …… 12～15

連載 …… 16～24

なんでも情報コーナー …… 25～31

太宰府の文化財 …… 32

市政ニュース

市政 年末年始の対応とタビット全国デビュー！

本市では、一年の納め、年の始めの節目を大切にすべく例年仕事納め式と仕事始め式を実施しています。仕事納めにおいては、楠田市長は令和4年を10大ニュースで振り返ると共に、中学校完全給食の契約締結など事業の歩みを着実に進めていることに対して、職員に労いの言葉を送りました。また、顕著な功績があった事業等に対して表彰を行いました。

仕事始めでは新年の抱負として、ふるさと納税、文化財の先進的多用途活用、企業誘致・人口増を「令和の都だざいふ成長戦略三本の矢」として新たに掲げ、更なる歳入増を標榜しました。

また、太宰府天満宮への参拝客を始め多くのお客様が訪れる本市としての年末年始の対応について、大晦日午後10時から年をまたぎ三が日市役所内に対策本部を設置し、担当職員が詰め交通対策やコロナ対策などに努めました。

さらに、遙か東京の地では本市の誇るPRキャラクター「タビット」がTBS系ラヴィットのゆるキャラ競走にて疾走し、並居るゆるキャラの中で見事2位を獲得しました。

令和5年が飛躍の年となるよう市の為市民の為世の為人の為に、楠田市長以下職員一同心機一転頑張っ参ります。



「ラヴィット！」撮影の様子



仕事始め式の様子



教育長
井上 和信
いのうえ かずのぶ

令和4年12月8日に行われた太宰府市議会第4回定例会において、選任の同意をいただき、12月25日付けで教育長に就任した井上和信です。教育長として本市の教育を統括することになり、その職責の重さに身が引き締まる思いです。

昭和54年から37年間教員として勤め、定年前の平成28年3月までは水城小学校校長として勤務させていただきました。退職後は太宰府市教育委員会での総括指導主幹として勤めておりました。

太宰府市教育委員会では、多様化するニーズを視野に入れながら、4つの教育の基本目標の達成に向けて、教育委員会活動の充実を図り、人権を尊重するまちづくりの推進、文化芸術の振興・スポーツの推進、社会教育の推進、学校教育の充実、文化遺産の保存と活用に関する施策を総合的に推進します。

微力ではありますが、楠田市長と連携を取りながら精一杯努めてまいりますので、皆様のご協力ご支援をよろしくお願い申し上げます。

新しい教育委員が就任しました

令和4年12月8日に行われた太宰府市議会第4回定例会で、新しい教育委員として赤坂秀文さんと森谷子さんが選任されました。

赤坂委員は校長として水城西小学校で勤務し、退職後も同校で通級指導教室の講師として指導をされました。森委員は小中学校のPTA本部役員として、また学校給食改善研究委員会委員として学校教育に関わってこられました。

両委員は「これまでの経験を本市の教育行政に生かしていきたい」と抱負を述べられていました。



新教育委員の赤坂さん(左)・森さん(右)・井上教育長(中央)

世界に羽ばたく人材育成 子ども・学生未来会議開催

第5回「太宰府市子ども・学生未来会議」を12月17日(土)、日本経済大学で行いました。

今回は、戦禍を逃れ留学中のウクライナ避難民学生と市内小中学生の代表がそれぞれの地域についてクイズ形式で紹介し、琴や日本舞踊、ダンスなどを披露し合うのとあわせて、班に分かれて意見交換も行いました。

世代も国籍も異なるなか、それぞれが歩み寄って理解し合おうとする姿がそこにありました。参加した子どもたちからは「国が違えば生活や文化が違うと思った。お互いに心を開けて良かった」と感想がありました。



当日の参加者たち

全世代居場所と出番構想 3年ぶりにキャンパスフェスタ開催

いきいき情報センター1階全世代交流フリースペースを活用し12月4日(日)、キャンパスフェスタ2022を開催しました。

市内5大学と市で構成する「太宰府キャンパスネットワーク会議」が主催し、学生が企画・運営しています。平成17年から続く本イベントはコロナ禍で3年ぶりに規模を縮小して行いました。

運営経験のある学生がいない中、悩みながら企画を進めましたが、キーホルダー作りやダンス、ビンゴ大会などを行い、多くの子どもたちに喜ばれ大盛況でした。



大好評だったビンゴ大会



学生たちと楽しむ子どもたち